

井伊直弼と

開国150年祭

Li Naosuke - Gateway to the future

市民創造事業

募集

七曲り地域の歴史を学ぶ勉強会を開催します

中山道から彦根城下へ入る通りに形成された通称「七曲り」。歴史的建造物も多く残る通りは、その謂れや大きな金色の彦根大仏、仏壇街など魅力に尽きません。今回、市民創造事業での絵本作成にあたり、彦根城博物館学芸員を講師に迎え、「七曲り」の歴史にふれたいと思います。気軽に参加してください。

日時 9月18日(金) 午後6時30分から

場所 彦根商工会議所3階・第2研修室

講師 野田浩子(彦根城博物館学芸員)

参加料 無料

申込・問い合わせ先 電話、ファクスで氏名・連絡先をNPO法人リンクス(柴田

方) ☎090-2061-5135番、FAX 22-1303番まで。

募集

松原下屋敷(お浜御殿)で庭園講演会を開催します

文化財建造物と一体を成す庭園も貴重な文化財の一部として評価してほしい。そのためには、庭師がキーマンになると考え、立ち上がった若き庭師集団が「いろは組」です。いろは組は彦根市指定文化財の「辻番所」の庭園を年間管理しています。今回、庭園を身近に感じてもらうと、国指定および彦根市指定文化財(名勝)である松原下屋敷の庭園で、特別史跡・彦根城跡保存整備実施計画検討委員会委員を講師に招き、わが国唯一の淡水を利用した汐入形式の手法を用いた庭園の講演会を開催します。

日時 10月10日(土) 午前10時



▲松原下屋敷の古写真

申込・問い合わせ先 庭師集団いろは組(〒502-0035) 多賀町久徳564-43 ☎080-5361-4907番(森口方)

井伊家ゆかりのふく福めぐり 開催中!

彦根市内にある井伊直弼ゆかりの寺、神社が企画した「井伊家ゆかりの文化と社寺巡り」が始まりました。知っているようで知らない彦根の寺、神社をこの機会に巡ってください。

歩いて回るのは、しんどいという人には、ペロタクシーによる社寺巡りが、特別価格で運行しています。

参加社寺 大師寺、千代神社、濟福寺、宗安寺、北野神社、埋木舎、滋賀縣護国神社、長寿院、龍潭寺、多賀大社

開催期間 平成22年3月31日(水)

参加方法 朱印帳(700円)に、社寺でご朱印(300円)をいただき、満願成就の人にはプレゼントを差し上げます。

ご朱印帳売り場 参加10社寺、ゆらっと遊覧彦根城お堀めぐり乗船場、いらっしやいませ館(観光案内所)、(社)彦

根観光協会 実施団体 井伊家ゆかりの文化と社寺巡り実行委員会 問い合わせ先 (社)彦根観光協会 ☎23-0001番

彦根製の自転車タクシー 彦根リキシャでニッポンを走る

彦根から横浜を完走しました

彦根製の自転車タクシー「彦根リキシャ」で、彦根から横浜 約450kmを11日間をかけて無事完走しました。8月12日(水)に彦根を出発し、途中、彦根とつながりが深い犬山城・名古屋城・安城市・岡崎城・浜松市井伊谷の龍潭寺・浜松城・掛川城・茅ヶ崎市に立ち寄り、8月22日(土)に横浜開港記念事業のY150トウモロパークにゴールしました。立ち寄り場所では、どこでも熱烈的な歓迎を受け、応援メッセージやぬいぐるみの交換をしました。

機会があれば、がんばってくれた彦根リキシャに、一度乗車してみてください。

問い合わせ先 ひこね自転車生活をすすめる会(エコス タイル自転車内) ☎26-2901番

はーとふるるメッセージ

2008

ありがとう

前河 有里 さん(東中学校3年)

私は、この夏、吹奏楽部を引退しました。私はトランペットを担当していました。二年生の春、たくさんの一年生が入部してくれました。トランペットには六人。元気で明るい子がほとんどでしたが、一人元気がない子がいました。その子とは小学校が同じでした。その子には弟がいます。小学生の頃、初めて、その子を見た時の印象は、今でもよく覚えています。

「弟の面倒をよく見てあげて、やさしい子だなあ。きっと、トランペットもがんばってくれるだろう」と思っていました。しかし、その子はなかなか音が出ませんでした。楽譜も読めない、音楽について何も知らない、そして何より私が困ったことは、「なにがわからないの?」と聞いても返事がかえってこないことでした。顧問の先生に相談してみると、その子は人と話すのがとても苦手らしい、ということがわかりました。それを知った私は、「少しづつでいい、この

子が人と話すことを怖がらないように、その手助けをしてあげよう。絶対にあきらめない。」と心に決めました。

はじめは、やっぱり、こちらから話しかけても無反応で、どうしたらいいのかなと、ずっと悩んでいました。でも、しつこいけど、毎日毎日声をかけることによって、その子の笑顔を見ることが増えてきて、本当にうれしかったです。トランペットも上手になってきたし、声を聞く回数も増えてきたし、何よりうれしかったのは、向こうから、「ここがわからないので、教えて下さい。」と言ってくるようになったことです。

あきらめないことの大切さを知りました。もちろん、その子が努力したからこそ、変わったのですが、その変化を近くで見守ることができて、本当によかったです。

引退式の日、トランペットパートの子達から手紙をもらいました。たくさんの「ありがとうございませう。」を見ていると、トランペットパートで本当によかった、私は幸せだな、と思いました。

人と話すことが苦手だった彼女の手紙を読んで、私は涙が出てきました。その子は、小学生の頃いじめられて、人

特選作品紹介 第4回

学年は応募時のものです



が怖くなってしまいました。知り合いの人を見ると、かかれてしまう性格でした。

手紙を読んで初めて知った悲しい事実です。いじめをした人は、その人の笑顔を奪い、心に深いきずを負わせて、どんな気持ちなんでしょう。私は、その子がどれだけつらい想いをしたのか、考えるだけでくやしいです。手紙のつづきに、こう書いてありました。

「先輩が私の心を開いてくれたんです。」「こんな私でも誰かの役に立てるんだ。」と思いました。私は、彼女からたくさん学びました。今、彼女に伝えたい言葉。「ありがとう。」

選評

トランペットパートの後輩を指導するうちに、後輩が少しずつ心を開いてくれていることへの喜びとともに、これまで後輩が受けてきた「いじめ」の体験を初めて知ったときの驚きと怒りは、先輩・後輩の関係を越えて人間のつながりを感じます。それがお互いへの「ありがとう」になったのではないでしょう。人の役に立つことって、充実感があり素晴らしいことですね。

楽々園建造物(御書院棟)保存整備工事現場見学会を開催します

井伊家11代当主直中は、文化10年(1813)の退隠(隠居)に際して、楽々園の大規模な増改築を行いました。増改築は数年を要し、各所の建物に及んだことが知られています。御書院棟もその一例でした。

御書院棟は、平成21年度から3年をかけて、全解体修理を実施し、現在解体工事を進めています。文化財建造物の修理工事は、建築当時の部材をできるだけ再利用して建て直しを行うため、建物調査を実施しながら、手作業で解体していきます。

今回、文化財建造物の解体現場の見学会を開催します。

開催日時 10月4日(日) 午後2時から同4時(雨天決行)

集合場所 楽々園玄関前

募集定員 50人(先着順)

募集期間 9月16日(水)~同30日(水)

申込方法 ㈱教育委員会文化財課に電話、ファクスで申し込んでください。また、教育委員会ホームページから申し込むこともできます。ファクス・ホームページで申し込む場合は、住所、電話番号、氏名を書いてください。

問い合わせ先 ㈱教育委員会文化財課 ☎26-50333番、FAX 26-50606番、Eメール: bunkazai@mx.nikone.ed.jp